

第3学年E組 音楽科学習指導案

指導者 寺村瑠梨子
展開場所 第2音楽室

- 1 題材名 「楽曲の特徴をとらえ、思いや意図をもって表現を工夫して歌おう」（5時間）
教材名 表現（歌唱） 「つながり」（混声四部合唱） 作詞・作曲 佐藤賢太郎

【本題材で扱う学習指導要領の内容】

A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)、ウ(イ)

〔共通事項〕(1)ア、イ

- ・思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素
構成、歌詞

2 題材について

(1) 題材の目標

- 曲想と全体の構成や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かして全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。（知識及び技能）
- 曲の構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。（思考力、判断力、表現力等）
- 思いや意図をもって表現を工夫して歌うことに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）

(2) 題材設定の理由

これまで歌唱の学習では、「言葉のリズムと旋律や強弱の関わり」「強弱と曲想の関わり」「歌詞の内容と旋律の関わり」「歌詞の内容と強弱の関わり」というように、曲の特性に応じて、創意工夫を考える視点を提示したり、考える部分を限定したりして授業を行ってきた。これは目標に向かいやすいよう意図的に行ってきたことだが、これまでの学習を生かして、生徒自らが楽曲の特徴に気付いたり、歌詞の内容等を踏まえて曲にふさわしい音楽表現を考えたりする力を伸ばしていきたいと考える。

このことから、本題材では、生徒たちがより主体的・協働的に学習活動に取り組み、思いや意図をもって、音楽表現を創意工夫する力を伸ばすことをねらいとしている。年間指導計画では、指導時間を大きく確保して歌唱の学習をするのは、今回と卒業の歌となる。卒業の歌では、これまで以上に自分たちで歌唱活動に取り組めるよう、本題材の学習が足がかりとなるようにしていきたい。

(3) 生徒の実態（男子17名 女子17名 計34名）

本学級での歌唱活動は、授業と行事や短学活を利用して、通年で行ってきた。音楽科の授業では毎時間の冒頭を合唱練習に充てており、リーダーのアドバイスを聞きながら、意欲的に取り組むことができている。基本的にパート練習と合唱が多いが、時には2パートごとに練習したり、各パート数人ずつで集まって練習したりしている。短学活でも毎日練習しており、同様の取り組みを行っている。

本題材を実施するにあたり、事前に実態調査を実施した。

実態調査より（28名が調査に参加）

【歌唱（合唱）の学習について】

1 歌唱（合唱）学習は好きですか。

①あてはまる（17人）

②まああてはまる（8人）

③あまりあてはまらない（2人）

④あてはまらない（1人）

2 理由を教えてください。

①②肯定的意見

- ・歌うのが好きだから。
- ・ハーモニーが作られた時に。
- ・だれかと歌うのが楽しいから。

③④否定的意見

- ・音程をとるのが苦手だから

3 歌うときに“特に”気を付けていることはなんですか。（複数回答可）

- ・姿勢・表情（16人）
- ・強弱（18人）
- ・発声の仕方（13人）
- ・歌詞の意味（6人）
- ・音程（22人）
- ・曲全体のまとめ（6人）
- ・ハーモニー（11人）

【譜例について】※いずれも音源とあわせて実施

譜例A

このほしーを ぜんぶ ふ るさとといわう -

このほしーを ぜんぶ ふ るさとといわう -

4 譜例Aについて答えましょう。

①強弱に注目して、気付いたことと感じたことを教えてください。

十分満足できる回答（23人）

- ・ < がついていて、盛り上がる感じがした。
- ・ < にあわせて音が高くなっていて、伸び伸びとした感じがした。
- ・ < と ff がついていて、広がる感じがした。

②なぜ①のようにになっているのでしょうか。考えたことを教えてください。

十分満足できる回答（16人）

- ・だんだん大きく歌うことで大事だと思わせるように歌うため。
- ・ほしに対しての思いを伝えるように伸びやかに歌うため。
- ・地球を包むような感じを表すため。

譜例B

いつのひ か で あう -

そのひのため に - - -

5 譜例Bについて答えましょう。

①強弱に注目して、気付いたことと感じたことを教えてください。

十分満足できる回答（22人）

- ・ p がついていて、静かな感じがした。
- ・ p がついていて、落ち着いた感じがした。

②なぜ①のようにになっているのでしょうか。考えたことを教えてください。

十分満足できる回答（12人）

- ・語りかけるように歌うため。
- ・丁寧に伝わるようにするため。

譜例C

このあおぞらは きつとつづいてる
 あなたがひとり みあげーるつきを

譜例D

あなたのまいにちが せかいをつくーり

6 譜例Dについて、譜例Cと比較して答えましょう。

①旋律に注目して、気付いたことと感じたことを教えてください。

十分満足できる回答 (18人)

- ・音が高くなり、盛り上がる感じがした。
- ・音が高くなり、のびのびとした感じがした。

②なぜ①のようにになっているのでしょうか。考えたことを教えてください。

十分満足できる回答 (12人)

- ・大きく歌うことでより伝えたいことを伝えやすくするため。
- ・明るく歌いたいから。

譜例E

こころ
こころ

譜例F

よどみ ーうずまき せ
 の ダムに せきとめられ よどみ ーうずまき せ

めぎあい
めぎあい
めぎあい

7 譜例Fについて、譜例Dと比較して答えましょう。

①リズムに注目して、気付いたことと感じたことを教えてください。

十分満足できる回答 (13人)

- ・十六分音符が増え、たたみかける感じがした。
- ・リズムが複雑になり、迫ってくる感じがした。

②なぜ①のようにになっているのでしょうか。

十分満足できる回答 (8人)

- ・うずまいている感じを表すため。
- ・葛藤している感じやもやもやした感じを表すため。

譜例G

そ！だれにで も あいするひとがいる
 そ！だれにで も あいするひとがいる

8 譜例Gは「そう！」という歌詞に注目して、どのように歌ったら良いでしょうか。

十分満足できる回答 (12人)

- ・そう！のところから、強く決心を持った歌い方をする。
- ・「！」を意識し、力強く歌う。
- ・この「そう」は肯定だから、大きく頷く感じで元気よく歌う。

合唱の学習に対して9割の生徒が肯定的意見を示しており、「歌う時に“特に”気を付けていることを教えてください」という質問でも、約半数以上が「姿勢・表情」「発声の仕方」「音程」といった歌唱に関する技術的なことに気を付ける意識を持っている生徒が多く、歌唱の活動に取り組む素地があるといえる。また、表現の工夫につながる点では半数以上の生徒が「強弱」に気を付けており、授業での発言やリーダーのアドバイスでも頻出する言葉であるため、非常に意識していることがわかる。また、既習曲から曲の特徴をとらえる設問でも、強弱記号に気づく生徒が多いことがわかる。特に *cresc.* や *f* についてはよくとらえ、歌詞の内容や歌い方と結び付けて考えることができている。*p* の譜例となると、その意図をとらえられた回答が少なくなる傾向があり、*f* と同様に充実して考えたり歌ったりできるよう、丁寧に学習を進めていく必要がある。

旋律やリズムについては、ほとんどの生徒は気付くことはできているものの、感じとったことまで回答できる生徒が少ないことがわかった。特にリズムについては、意図をとらえられた回答が少なく、リズムの反復や変化、歌詞との結びつきなど、曲の構成を聴き取り、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら授業を進めていく必要がある。

歌詞をもとに歌い方を考える設問では、半数が歌詞の内容を踏まえて表現の工夫（歌い方）を考えられていることがわかった。残りの半数は、歌詞の内容と表現の工夫が結びつかないような回答や、歌詞の内容のみ、または技能面のみ留まった回答が見られた。「歌詞の意味」に気をつけていると回答した生徒が少なかったことを考えると、十分な回答をしている生徒の数は予想よりも多かったが、歌唱表現の工夫と歌詞の意味というのは密接に関わっているものであるため、本題材の学習を通して、歌詞の内容をとらえることの重要性を理解し、音楽表現の工夫につなげていきたい。

(4) 指導観

本題材の教材曲は、今年度10月に行われる校内合唱コンクールの学年合唱曲として、佐藤賢太郎作詞・作曲の「つながり」をとりあげる。「つながり」は、2011年に福島県で開催された高等学校総合文化祭（ふくしま総文）の総合開会式にて発表された曲で、福島県の高校生が東日本大震災やふくしま総文に対する思いをつづったアンケートを基に作られたものである。後に「歌おう NIPPON プロジェクト」で出版されている。

本楽曲は、4小節のテーマを変奏曲的に展開して作られている。テーマの基本形は、3度の上行形で始まり、歌詞の内容に合わせて音域やリズムを変えながら、約1オクターブの中を行き来する形になっていて、旋律のまとまりがわかりやすいと考える。また、強弱記号も必要な分だけ的確についており、記されている記号とその変化が読み取りやすい。歌詞も自然な言葉でつづられており、当時の高校生たちの思いをくみ取りながら、半年後に卒業を控える自分たちに思いを馳せて、本楽曲に取り組む価値を見いだしていきたい。

今回の指導では、曲全体を5つの場面に分け、それぞれ場面で「①曲の全体像を確認する」「②曲の特徴をとらえる」「③曲の特徴をふまえて表現の工夫を考える」という3つの学習活動を固定化して進めていく。「①曲の全体像を確認する」活動では、単元の最初に、曲の構成を図式化する活動を取り入れ、作成したものを毎時間確認してから本時の内容に入ることによって、曲全体のまとまりを意識しながら学習に取り組むことができると考える。「②曲の特徴をとらえる」活動では、上行形から始まるフレーズ同士の比較や他の場面との比較から「曲の感じ」「音楽の特徴」「歌詞の内容」の3項目に分け、個人で考えた後、グループで意見を集約することで、他の人の意見を取り入れながら、曲の特徴に気付く力を養いたい。「③曲の特徴をふまえて表現の工夫を考える」活動では、②を元に歌ったり聴いたりして表現の工夫を考えさせたいと考える。その際、タブレットの録音機能の使用を推奨し、範唱や事前に録音した合唱を自由に再生できるようにすることで、より話し合いを深める手立てとする。そして、この①②③の流れを固定化しながら、全体での学習からグループ活動に移行することで、学習の見通しを持って取り組み、自分たちで曲にふさわしい音楽表現を考える力を養いたい。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 曲想と全体の構成や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>思 曲の構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 思いや意図をもって表現を工夫して歌うことに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 指導と評価の計画（5時間）（本時4／5時間）

次	時配	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ☆ [音楽を形づくっている要素]	○教師の指導・支援 ・目指す生徒の姿	評価の観点 <評価の方法>		
				知・技	思	態
第一次	第一時	<p>◎音の動きや、パートの役割を確認し、曲の全体像をつかもう。</p> <p>○曲の雰囲気を感じ取る。 ・範唱を聴き、曲のイメージをつかむ。 ・感じ取ったイメージについて伝え合う。</p> <p>○音の動きやパートの役割を確認しながら音取りをする。 ・同じ音が続くところや音が跳躍するところに気を付けて歌う。</p> <p>・他パートと違う動きをするところに気を付けて歌う。 ・和声の幅が広がるところや狭くなるところを感じとりながら歌う。</p>	<p>○「曲を聴いた感想や気付いたことを教えてください。」 ・やわらかい感じがする。 ・ゆったりしている。 ・ずっとハーモニーがある。 ・似たメロディーが出てくる。</p> <p>○間違いやすいところは、細かく何度も抜き出し、音の高さを手で表すなどして視覚的に伝わるようにする。</p> <p>○他パートの音をピアノで弾いたり、範唱したりして、拍やリズムの違いを捉えさせる。</p> <p>○他パートとぶつかる音や解決する音を中心にピアノで弾き、和声の変化を感じとらせる。 ・苦手なところ、間違いやすいところ、他パートと違う動きをするところに印をつけながら、練習している。</p>			

第二次	第二時	<p>◎作曲の背景について知り、曲の全体像をつかもう。</p> <p>○作曲の背景や歌詞の内容について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つながりに寄せて」 「作曲家からのメッセージ」を読む。 ・歌詞を読み、感じたことや考えたことを伝え合う。 <p>○曲を5つの部分に分け、曲の全体像をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習番号をつける。 <table border="1" data-bbox="331 658 663 860"> <tr><td>A</td><td>5小節～12小節</td></tr> <tr><td>B</td><td>13小節～24小節</td></tr> <tr><td>C</td><td>25小節～32小節</td></tr> <tr><td>D</td><td>33小節～40小節</td></tr> <tr><td>E</td><td>41小節～49小節</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・Dが曲の山場であることを確認し、そう考える理由から曲の特徴をとらえる視点を全体で確認する。 <p>○「“曲の山場”はどこだと思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Dだと思う。 <p>○「なぜ、Dが“曲の山場”だと思いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・fがついている。 ・直前にクレシェンドがあり、Dに向かっている感じがする。 ・他の部分に比べて、特にソプラノの音が高い。 ・いろいろなリズムが出てきた。 ・最初は寂しそうな歌詞だけど、「一緒に」「寄り添い」という前向きな歌詞が出てきた。 ・伴奏が複雑になった。 <p>○他の部分と比べながら、音楽記号だけでなく、旋律の動き、リズムの種類、ピアノ伴奏の様子、歌詞の内容など、Dの特徴を多角的に考えるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横軸を曲の進行、縦軸を強弱とした表に、A～Eのカードを並べ、それぞれの部分の関係を視覚的にとらえることができる。 <p>☆ [構成、歌詞]</p>	A	5小節～12小節	B	13小節～24小節	C	25小節～32小節	D	33小節～40小節	E	41小節～49小節
A	5小節～12小節											
B	13小節～24小節											
C	25小節～32小節											
D	33小節～40小節											
E	41小節～49小節											

	<p>○Aの表現を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人と話しながら、Aの特徴を挙げ、全体でロイロノートの共有ノートに集約する。 ・Aをどのように歌ったら良いか考え、伝え合う。 ・意見を基に、特徴が生かされているか考えながら、全体で歌う。 	<p>○Dでの意見を振り返りながら、「曲の感じ」「音楽の特徴」「歌詞の内容」「その他」の4つに分類して意見を出すよう助言する。</p> <p>○「音楽の特徴」と「歌詞の内容」を関わらせて考えられるよう、問いかけていく。</p>	<p>知 〈記述〉</p>		
<p>第三時</p>	<p>◎曲の特徴を生かして、前半部分をどのように歌ったら良いか考え、歌おう。</p>				
	<p>○学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの振り返りとして、全体で合唱をする。 ・A～Eの関係についてまとめた表で曲の全体像を確認する <p>○Bの表現を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で、Bの特徴をロイロノートに書き出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、Bの特徴についてロイロノートの共有ノートに集約する。 ・Bをどのように歌ったら良いか考え、伝え合う。 <p>☆〔構成、歌詞〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、集約した意見を基に、Bの表現を工夫して歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aでの活動を基に、「曲の感じ」「音楽の特徴」「歌詞の内容」に分類して意見を出している。 <p>○Aとの違いに着目して考えるよう助言する。</p> <p>○音楽が得意な生徒、合唱が得意な生徒、各パートの人数の配置に配慮してグループ編成をする。</p> <p>○グループごとに活動する部屋を分け、録音の妨げにならないようにする。</p> <p>○各グループの活動が充実するよう、必要に応じてアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに判断してもらったり、タブレットの録音機能を使ったりして、集約した意見が歌唱に反映されているか確認しながら歌っている。 		<p>思 〈観察〉</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに考えた表現を発表する。 ・各グループの発表を基に、全体で合唱する。 <p>○次回の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で、Dの特徴をロイロノートに書き出し、提出する。 	<p>○必要に応じて各グループの意見から、反復、対照、変化など全体の構成について言及していく。</p> <p>○各グループの意見を整理し、実際に歌ってみながら、全体で表現の方向性を整えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aとの比較やこれまでの活動を基に、「曲の感じ」「音楽の特徴」「歌詞の内容」で1つずつ意見を出している。 			
<p>第四時 (本時)</p>	<p>◎曲の特徴を生かして、“曲の山場”をどのように歌ったら良いか考え、歌おう。</p> <p>○学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの振り返りとして、全体で合唱をする。 ・A～Eの関係についてまとめた表で曲の全体像を確認する。 <p>○Dの表現を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、Dの特徴についてロイロノートの共有ノートに集約する。 ・Dをどのように歌ったら良いか考え、伝え合う。 ・グループごとに、集約した意見を基に、Dの表現を工夫して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに考えた表現を発表する。 <p>☆〔構成、歌詞〕</p> <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表を基に、全体で合唱する。 ・個人で振り返りをする。 	<p>○前時の復習ができるよう、前時に提出された個人の意見を、各グループの共有ノートに返却する。</p> <p>○グループごとに活動する部屋を分け、録音の妨げにならないようにする。</p> <p>○各グループの活動が充実するよう、必要に応じてアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに判断してもらったり、タブレットの録音機能を使ったりして、集約した意見が歌唱に反映されているか確認しながら歌っている。 <p>○各グループの意見を整理し、実際に歌ってみながら、全体で表現の方向性を整えていく。</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">技</p> <p style="text-align: center;">〈演奏の聴取〉</p>		

第三次	第五時	◎ “曲の山場”の前後をどう歌うか考え、曲全体をよりよくしよう。			
		<p>○学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの振り返りとして、全体で合唱をする。 ・A～Eの関係についてまとめた表で曲の全体像を確認する <p>○C～Eの表現を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でC・Eの特徴をロイロノートに書き出し、それぞれ共有ノートに集約する。 ・全体で、集約した意見を基に、C～Eの表現を工夫して歌う。 <p>☆〔構成、歌詞〕</p> <p>○学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で合唱をする。 ・個人で振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を基に、「曲の感じ」「音楽の特徴」「歌詞の内容」に分類して意見を出している。 ・各パートのリーダーに判断してもらったり、タブレットの録音機能を使ったりして、集約した意見が歌唱に反映されているか確認しながら、歌っている。 <p>○Dとの関係を踏まえながら、C～Eを通して歌うよう促す。</p> <p>○単元のまとめとして、本番に向けてどのように表現していきたいか、学んだことを踏まえてワークシートにまとめさせる。</p>		

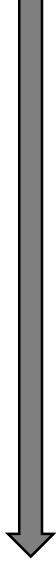
5 本時の指導（4／5）

（1）本時の目標

曲想と全体の構成や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解し、“曲の山場”を創意工夫して歌う。

（2）本時の展開

時配	○学習内容 ・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素〕	○教師の発問や働きかけ ・目指す（予想される）生徒の姿	評価の場面 ＜評価方法＞		
			知・技	思	態
5 2	<p>○学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの振り返りとして、全体で合唱をする。 ・A～Eの関係についてまとめた表で曲の全体像を確認する。 		■		■
◎曲の特徴を生かして、“曲の山場”をどのように歌ったら良いか考え、歌おう。					
3	<p>○Dの表現を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、Dの特徴についてロイロノートの共有ノートで集約する。 	○前時に提出された個人の意見を、各グループの共有ノートに返却する。	■		■

5	<ul style="list-style-type: none"> ・ Dをどのように歌った良いか考え、伝え合う。 				
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに、集約した意見を基に、Bの表現を工夫して歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに活動する部屋を分け、録音の妨げにならないようにする。 ○各グループの活動が充実するよう、必要に応じてアドバイスをする。 ・ リーダーに判断してもらったり、タブレットの録音機能を使ったりして、集約した意見が歌唱に反映されているか確認しながら歌っている。 			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに考えた表現を発表する。 <p>☆ [構成、歌詞]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループの意見をまとめながら、全体で表現の方向性を整えていく。 ・ 各グループが考えた表現の良さについて伝え合う。 ・ 各グループの意見や発表を比較し、共通点や違いを見つけ、A～Eの構成を考えながら、より良い表現について考えている。 			 技 〈演奏の聴取〉
10	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめをする。 ・ 各グループの発表を基に、全体で合唱する。 ・ 個人で振り返りをする。 				

(3) 板書計画

曲の特徴を生かして、“曲の山場”をどのように歌ったら良いか考え、歌おう。

Aの楽譜	今日の流れ ① D の特徴をまとめる →どのように歌ったら良いか考える ② グループ練習 ③ グループごとに発表 ④ 全体で合唱
Bの楽譜	
Dの楽譜	

※ロイロノートで大画面に写して併用する。